



ホスピスケアの核となる施設の実現に向けて、

「府中市にホスピスを設置する為の支援を求める陳情書」への署名活動にご協力を！

小西 厚子

2002年（平成14年）2月の設立以来、府中ホスピスを考える会は、「ホスピスについての理解を深め、終末期医療としてのホスピス（在宅および施設）の普及を目指す」（会則第1条）ことを目的として活動してきました。会が開催した勉強会・講演会等は、会員と広く一般の方々にも参加を呼びかけ、府中NPOボランティアまつりや桜まつり等にも参加して、会の活動をPRしました。会の活動の根底には、会の設置に参集した会員の「私たちの住む府中市にホスピスがほしい」という強い願望が存在しています。昨年の第7回定期総会で、会の活動を前進させて「ホスピス」の設置を呼びかけていくことを活動計画に入れました。その活動の一つは、「通信 第10号」で報告した第6回府中NPO・ボランティアまつりでの府中市民の皆様へのPRでした。

また、「ホスピス」設置には府中市医師会の皆様にご協力とご支援をお願いする必要があると考えて、2008年12月19日付けで府中市医師会会長に「府中市における終末期医療としてのホスピス（施設）の設置と在宅ホスピスケアの充実についてのご協力をお願いする要望書」をお届けしました。この要望書については、2009年2月27日発行の府中市医師会会報に受け取っていただいた旨の記載がされています。

そして、今年度、2009年（平成21年）5月17日（日）に開催した第8回定期総会において、府中ホスピスを考える会は、府中市にホスピスケアの核となる施設・「ホスピス」の設置を実現するために、府中市長に「陳情書」を提出することを決定しました。

今年度、会員の総力をあげて、府中市長への「陳情書」に署名を求める活動に着手いたします。署名活動は、11月30日までに取りまとめます。とくに、会としては、11月14日（土）、15日（日）の両日開催される第7回府中NPO・ボランティアまつり（会場：府中グリーンプラザ）に参加して、パネル展示によるPR等により、署名活動の最後を盛り上げたいと計画しています。

会員の皆様は、家族、友人、知人等に署名をお願いして、できるだけ多くの署名を集めていただくようご協力ください。署名者は、この陳情趣旨をご理解していただいた方であれば、府中市以外の方でも署名できます。

また、この「陳情書」への署名を求める際に配布するために、「ホスピスケアの核となる施設の実現に向けて」と題するちらしを作成し、府中ホスピスを考える会としての趣意を説明しています。これには、聖路加国際病院理事長 日野原重明先生から「私も応援しています」、「ぜひ市民の皆様の協力で、一刻も早く患者さんやご家族のもとにホスピスケアが届けられることを願っています」と力強いメッセージをよせていただいております。会の設立以来、ご支援をいただいている日野原先生の応援にお答えするためにも、署名活動を成功させたいと思います。

「考える会通信 第11号」の発行は、「陳情書」関係の準備に合わせて少々編集が遅れました。第8回定期総会報告及び、総会に先立って開催された第24回勉強会の記録を中心に編集しています。

府中ホスピスを考える会 第 8 回 定期総会 (兼第 24 回勉強会) 議事要約

日 時：平成 21 年 5 月 17 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

場 所：府中市片町文化センター 3 階 講堂

議事要約 開会挨拶：小西 総合司会・小沢

1. 第 24 回勉強会 (次項参照)

2. 第 8 回定期総会 議事次第

- (1) 議長選出 総合司会の提案により窪田幹事を、会員の拍手により議長に指名
- (2) 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告 (小西会長報告)
- (3) 第 2 号議案 平成 20 年度会計報告 (宇田会計幹事)
- (4) 第 3 号議案 監査報告 (三宮監査役代理で駒ヶ嶺幹事報告) 以上 3 案一括承認
- (5) 第 4 号議案 役員改選 (小西会長) 現役員再任案を提案・承認
- (6) 第 5 号議案 平成 21 年度予算 (案) (宇田会計幹事) 提案・承認
- (7) 第 6 号議案 平成 21 年度事業計画 (案) (小西会長口頭で提案) 勉強会年 4 回・会報年 2 回・ボランティアまつり参加等、今年は特に「府中市にホスピスを設置するための支援を求める陳情書」の署名活動をしたい。

閉会挨拶・小沢

府中ホスピスを考える会 第 24 回勉強会 要約

日 時：平成 21 年 5 月 17 日 (日) 午後 1 時 30 分～

場 所：府中市片町文化センター 3 階講堂

講 師：府中市医師会管理者 芝尾幾世氏

演 題：府中市における訪問看護ステーションの現状

1. 府中市における訪問看護ステーションの現状：11 カ所。

内 24 時間対応 4 カ所

2. 府中市医師会訪問看護ステーションの概要

1996 年 (平成 8 年) 9 月、事業開始

2000 年 (平成 12 年) 4 月、居宅介護支援事業開始：訪問看護・居宅支援・医療保険、介護保険も対象

①ステーションの体制：7 名。内 3 名は居宅、理学療法士 1 名、

②対象地域：市内全域、以前は多摩全域であったが現在は居住地域

③利用対象者：だれでも OK。医療処置も OK。1 歳から 98 歳の 91 名 (男 33 名女 58 名)、1/3 が介護。

④営業時間：月～金、9 時～17 時。24 時間体制。できるだけ夜間にならないようにサービスしている。

⑤訪問看護の内容：生活支援・医療補助 (点滴も OK)・介護方法指導・情報提供等。

⑥訪問回数の決定：利用者の安定度を見て、病状、医療機器、他介護力を勘案して。老々介護にはケアマネと相談

⑦訪問看護サービスの申し込みからサービス提供までの流れ：3 点、利用者家族直接・医師よりの依頼・ケアマネ、市センターから。

⑧平成 20 年度訪問看護サービス実施状況

訪問看護利用者数	999 人	医療保険 延べ 335 人 介護保険 延べ 664 人
在宅で最期を迎えたケース	20 人	末期がん 11 人 その他 9 人
病院・他の施設で最期を迎えたケース	6 人	末期がん 1 人 その他 5 人

3. 事例紹介 (在宅で最期を迎えたケース)

事例 1 65 歳女性：卵巣がん末期：夫と 2 人暮らし、子は市内、H17 年がんの手術、2 ヶ月前に自宅に帰り支援開始。週 3 回入浴、亡くなられる 1 週間前まで元気であった。



事例 2 64 歳女性：乳がん末期：長男夫婦と 4 人で生活、H17 年手術骨転移、多発性、本人希望で去年 12 月退院、自宅で週 3 回訪問サービス、9 日間の介護で死去。

事例 3 88 歳男性：パーキンソン病：長男夫婦と 4 人で生活、77 歳で発症、経管栄養補給で、医師が 2 週に 1 回、訪看週 3 回、リハビリも対応、その後、家族不在のときヘルパーが発見。

いずれの事例も家族が自宅で看取りができたことを感謝している。ブリーフケアを 49 日前後に(花のきれるころ)行っている。

4. 在宅ホスピス・緩和ケアにおける訪問看護

①「生の終わり迎える理想の場所」

(厚生労働省：在宅療法の普及及び技術評価に係る調査委員会報告書、平成 19 年度資料)

	全体	病院	施設	居宅	無回答
在宅酸素	100	22.6	1.9	65.4	12.6
在宅胃瘻経管栄養	100	12.0	1.7	79.5	8.5
在宅人工呼吸器	100	15.6	—	73.3	11.1
在宅中心静脈栄養	100	15.8	—	68.4	18.4
主治医	100	4.5	1.5	77.6	19.4

②所感、まとめ：今後早急に介護師、看護師の増加をはかること。体制整備も必要。訪問先での判断が難しい。天候に左右される。12 年いろいろな経験をしたが大切な仕事として心のこもった看護を目指していきたい。

市医師会の訪問看護ステーションの電話は 351-0053

(要約記述は和田の聞き書き)

府中市の訪問看護ステーションへのアンケート

在宅ケアを担っている府中市内 11 箇所の訪問看護ステーション各位に、終末期の患者様の現状について教えてほしいと、以下のアンケートについて 6 箇所の訪問看護ステーションより回答をいただきました。

この結果を以下にまとめました。

●貴訪問看護ステーションで対応された昨年 1 年間の件数をお答えください。

	A	B	C	D	E	F
1.訪問看護の延べ件数	3310	5460	3430	4834	507	2400
2.a 在宅で最期を迎えたケース	15	20	18	6	17	3
b その内末期がんに関連したケース	9	11	15	5	11	2
3.a 在宅療養していたが病院で最期を迎えたケース	17	6	21	7	13	1
b その内末期がんに関連したケース	5	1	19	1	8	0

●人生の最期まで府中市で安心して過ごせるために、今後必要と思われる施設、環境(人的、物的)などについて、ご意見がありましたらお教えてください。

- * 在宅で過ごされるのであれば、在宅支援診療所、もしくは看取りをしてくださる医師が必要です。府中市には不足しています。
- * 看取り間近になった時に入院可能で、なおかつ自然看取りターミナルケアができる病院が必要です。
- * ホスピスが必要です。(2 件)
- * 200 床位の規模で救急を受け入れてくれる病院が必要です。
- * 在宅支援診療所がもっと多く必要です。
- * 住み慣れた家で最期までと思っているケースでも、療養期間、介護力などいろいろな問題が生じています。
- * ターミナルについて専門的な知識研修を受けている医師、看護師、ヘルパーなどの専門職の養成が必要です。
- * ターミナルに熟知した医師がいてくださったらありがたい。

府中ホスピスを考える会講座実施歴

	日付	テーマ	講師	(敬称略)
特	01/10/28	がんと向きあったとき、あなたならどう生きますか	聖路加国際病院名誉理事長	日野原 重明
1	02/02/17	「ホスピスの体験から」	ピースハウス病院ナース	杉本 真由美
2	02/04/28	「在宅ホスピスケアについて」	ピースハウス病院ナース	杉本 真由美
3	02/07/14	「緩和ケアで使われる薬について」	薬剤師(元ピースハウス病院職員)	玉井 照枝
特	02/10/11	アサヒタウンズ特別講演会「日野原先生」		
4	02/11/24	「心と身体の痛みを癒すには」	くらしき作陽大学教授	篠田 知璋
5	03/05/18	地域に密着した在宅ケアについて	平林医院院長	平林 竹一
6	03/06/10	ホスピスセミナー	桜町聖ヨハネホスピスケア研究所長	山崎 章郎
7	03/08/03	「ヨーロッパのホスピス事情」	府中ホスピスを考える会副会長	市村 晴子
8	03/10/26	家で最期をむかえるために-在宅ホスピスケアの実際	ホームケアクリニック川越院長	川越 厚
9	04/04/18	「家族の立場からホスピスケアを見る」	府中ホスピスを考える会会員	駒ヶ嶺 泰秀
10	04/09/10	輝いて生きる-人生の後半を-	聖路加国際病院名誉理事長	日野原 重明
11	04/11/07	コミュニティで考えるこれからのホスピスケア	聖ヨハネホスピスケア研究所研究員	長谷 方人
12	05/06/05	夫をガンで見送って-入院治療3ヶ月後の不安-	府中ホスピスを考える会会員	森山 レイ子
特	05/09/24	地域で生きる-尊厳ある生と死を求めて	聖ヨハネホスピスケア研究所長	山崎 章郎 他
特	05/10/30	いのちと響き合う絵本	ノンフィクション作家	柳田 邦男
13	05/11/26	更年期障害と子宮癌	東府中病院長	十蔵寺 新
14	06/03/26	人間のいのちと死-終末期医療からみる	医学博士・医療法人恵風会施設長	渡邊 寛宣
15	06/05/21	千倉市「花の谷」(ホスピス)の紹介	府中ホスピスを考える会副会長	市村 晴子
16	06/08/20	NHKビデオによるホスピスに関するQ&A	府中ホスピスを考える会副会長	市村 晴子
特	06/09/09	永六輔 いのちを語る	ケタウン小平・聖ヨハネホスピスケア研究所共催	
17	06/11/11	ときめく「命(いのち)」をいきる	青山学院大学講師	野村 祐之
18	07/04/01	さいごまで生きる施設-ホスピス-でのとき	ライフプランニングセンター所長	平野 真澄
19	07/06/24	「いのち輝かせて生きる」-こどもから老人まで	聖路加国際病院名誉理事長	日野原 重明
特	07/10/13	鎌田実 いのちを語る	ケタウン小平・聖ヨハネホスピスケア研究所共催	
20	08/01/20	「地域におけるホスピスケア」-患者と家族の心を支える-	医療法人社団イバラキ会	高野 和也
21	08/05/25	「ホスピスケアにおける訪問看護の役割」	医王訪問看護ステーション地域専門看護師	宮田 乃有
22	08/08/03	阿伎留医療センター緩和ケア病棟の現状	公立阿伎留医療センター緩和ケア科・医師	戸澤 育文
23	09/01/25	ビデオによる「ホスピス緩和ケアの歩み」	府中ホスピスを考える会副会長	市村 晴子
24	09/05/17	府中市における訪問看護ステーションの現状	府中市医師会訪問看護ステーション所長	芝尾 幾世

会計より会員の皆様へのお願い 会費の払い込みをどうぞよろしくお願ひします。勉強会・講演会等当日でも、郵便局への振込でも結構です。振込用紙ご入用の方は、会計までご連絡いただければお送りいたします。

会計 宇田ひさ子 042-363-9271

編集後記

今年度、考える会は、府中市長への「府中市にホスピスを設置する為の支援を求める陳情書」の署名活動をする事になりました。この活動を成功させるために会員の皆様のご協力をお願いします。

「通信」編集委員 市原美幸、小西厚子、和田総一郎

発行元 府中ホスピスを考える会編集部 連絡先 小西厚子 042-361-2823